

## 医療安全通信 第55号-1

【薬局部 医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

### 小児において年齢別に用法・用量や剤形が異なる医薬品について

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の「共有すべき事例」2018年 No. 7には『年齢により用量が異なる医薬品』についての事例が掲載されています。

[http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing\\_case\\_2018\\_07.pdf](http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing_case_2018_07.pdf)

#### ◆ 事例の内容

【原文のまま抜粋】

今回は、7歳になって初めての来局であった。処方箋には一般名 オロパタジン塩酸塩顆粒 0.5% 1g分2 朝夕食後4日分と記載されていた。年齢が7歳であることを電子薬歴で確認し、7歳であれば1日量は2gであるため、処方医に疑義照会した。その結果、オロパタジン塩酸塩顆粒0.5%「MEEK」2g分2朝夕食後に変更となった。

#### ◆ 背景・要因

前回の来局が2か月前であり、処方医は患者が7歳になったことに気づけなかったと考えられる。

#### ◆ 事例のポイント

○アレルギー性疾患治療剤であるオロパタジン塩酸塩顆粒0.5%製剤の添付文書では、2歳以上7歳未満の小児と7歳以上の小児とでは投与量が異なる。このように年齢によって投与量が異なる薬剤は他にもみられる。

○患者の年齢は常に変わることを念頭に置き、特に小児や高齢者の処方には注意する。

○年齢によって投与量が異なる薬剤をリストアップするなど、年齢確認を注意喚起する対策も有用である。

○本事業の平成27年年報では、分析テーマとして「小児において年齢別に処方量や剤形が異なる医薬品」に関する再発・類似事例を取り上げた。報告事例の中から、医薬品名や添付文書上の用法・用量などを整理して薬局ヒヤリ・ハット分析表に掲載しているのので、参考にさせていただきたい。[http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/analysis\\_table\\_2015\\_07.pdf](http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/analysis_table_2015_07.pdf)

小児薬用量は体重あたりの投与量が示されているものと、年齢区分で処方量や用法が設定されている医薬品があります。また、同成分の医薬品でも剤形によって、適応となる年齢が異なるものがあり、**小児の処方鑑査においては、年齢は体重とともに重要項目の一つ**です。

下表に示すように、年齢区分で処方量や剤形が異なる医薬品には注意が必要です。

一般名	ブランド名	用量が異なる年齢区分			
オロパタジン塩酸塩	アレロック	2歳以上 7歳未満	7歳以上		
セチリジン塩酸塩	ジルテック	2歳以上 7歳未満	7歳以上	15歳未満	
デスロラタジン	デザレックス	12歳以上			
フェキソフェナジン塩酸塩	アレグラ	6か月以上 2歳未満	2歳以上 7歳未満	7歳以上 12歳未満	12歳以上
ペボタステンベシル酸塩	タリオン	7歳以上			
モンテルカストナトリウム	シングレア / キプレス	1歳以上 6歳未満	6歳以上		
ルバタジンフマル酸塩	ルパフィン	12歳以上			
レボセチリジン塩酸塩	ザイザル	6か月以上 1歳未満	1歳以上 7歳未満	7歳以上 15歳未満	
ロラタジン	クラリチン	3歳以上 7歳未満	7歳以上		
ツロプテロール	ホクナリン	0.5~3歳未満	3~9歳未満	9歳以上	
ラニナミビル オクタン酸エステル水和物	イナビル	10歳未満	10歳以上		
マルツエキス		6か月未満	6か月以上 1歳未満	1歳以上 3歳未満	

#### 《安全対策例》

★調剤台、鑑査台に小児薬用量の一覧表を設置する

★薬品棚や薬品容器に用量表示や注意喚起の掲示をする

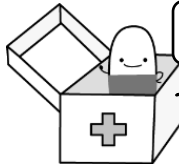
★レセコンの薬品マスタに年齢確認の注意喚起表示の設定をする

《参考資料》 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成27年年報

※ 医療安全通信 第13号 (PB Vol.1753-4) でも類似のテーマを取り上げています。ご参照ください。

旭川薬剤師会公式サイトに医療安全通信のバックナンバー、掲載資料、リンク先を掲載しています。





医療安全通信 第55号-2

【薬局部 医療安全委員会】

## 小児において年齢別に用法・用量や剤形が異なる医薬品

(年齢、症状により適宜増減可能なものを除く)

一般名	ブランド名	剤形	規格	年齢	1回量	用法
<b>◆ アレルギー用薬</b>						
オロパタジン 塩酸塩	アレロック	錠/OD錠/ ODフィルム	2.5mg 5mg	7歳以上	5mg	1日2回 (朝・就寝前)
		顆粒	0.5%	2歳以上 7歳未満 7歳以上	2.5mg (製剤量0.5g) 5mg (製剤量1g)	
セチリジン 塩酸塩	ジルテック	ドライシロップ	1.25%	2歳以上 7歳未満	2.5mg (製剤量0.2g)	1日2回 (朝食後・就寝前)
				7歳以上 15歳未満	5mg (製剤量0.4g)	
		錠	5mg	7歳以上 15歳未満	5mg	
			10mg	小児適応なし		
デスロラタジン	デザレックス	錠	5mg	12歳以上	5mg	1日1回
フェキソフェナジン 塩酸塩	アレグラ	ドライシロップ	5%	6か月以上 2歳未満	15mg (製剤量0.3g)	1日2回  ※適宜増減可
				2歳以上 7歳未満	30mg (製剤量0.6g)	
				7歳以上 12歳未満	30mg ※ (製剤量0.6g)	
				12歳以上	60mg ※ (製剤量1.2g)	
		<後発品のみ>	6%	7歳以上 12歳未満	30mg ※ (製剤量0.5g)	
		錠/OD錠	30mg 60mg	7歳以上 12歳未満 12歳以上	30mg ※ 60mg ※	
ペボタスチン ベシル酸塩	タリオン	錠/OD錠	5mg 10mg	7歳以上	10mg	1日2回  注意：2018年11月現在、後発品に小児適応なし
モンテルカスト ナトリウム	シングレア /キプレス	細粒	4mg/包	1歳以上 6歳未満	4mg(1包)	1日1回 (就寝前)
		チュアブル錠	5mg	6歳以上	5mg	
		錠/OD錠	5mg 10mg	小児適応なし		
ルバタジン フマル酸塩	ルバフィン	錠	10mg	12歳以上	10mg (20mgに増量可)	1日1回
レボセチリジン 塩酸塩	ザイザル	シロップ	0.05%	6か月以上 1歳未満	1.25mg (製剤量2.5mL)	1日1回
				1歳以上 7歳未満	1.25mg (製剤量2.5mL)	
				7歳以上 15歳未満	2.5mg (製剤量5mL)	1日2回 (朝食後・就寝前)
錠	5mg	7歳以上 15歳未満	2.5mg			
ロラタジン	クラリチン	ドライシロップ	1%	3歳以上 7歳未満	5mg (製剤量0.5g)	1日1回 (食後)
		錠/レディタブ錠 /OD錠<後発品のみ> /フィルム<後発品のみ>	10mg	7歳以上	10mg	
<b>◆ 気管支拡張剤</b>						
ツロブテロール	ホクナリン	テープ	0.5mg 1mg 2mg	0.5~3歳未満 3~9歳未満 9歳以上	0.5mg 1mg 2mg	1日1回
<b>◆ ノイラミニダーゼ阻害剤</b>						
ラニナミビル オクタン酸 エステル水和物	イナビル	吸入粉末剤	20mg	10歳未満 10歳以上	20mg 40mg	単回 単回
<b>◆ 乳幼児便秘治療剤</b>						
マルツエクス		軟エキス		6か月未満 6か月以上 1歳未満 1歳以上 3歳未満	3~6g 6~9g 9~15g	1日2~3回